

くすのき



岡本小学校 学校だより

No.14

令和3年1月13日

『信頼と共生のワンチーム』

《学校教育目標》 夢に向かって未来を拓く『おかもとの子』の育成



新年のあいさつ

2021年が幕を開けました。新型コロナの勢いが収まらず、先行き不安の残る年明けとなりましたが、学校現場では、前倒しとなったGIGAスクール構想の実現が目の前に迫り、この休み中も準備が進められてきました。今年も「変化をチャンス」に変えられるよう、着々と歩みを進めてまいります。

今年初めての登校となった1月7日、感染予防対策として初の試みである、リモート朝会を行いました。

《校長の話 その1》

今年は丑年。十二支の中で牛は2番めの動物です。なぜ2番めかというと…

「元旦の朝、お宮に到着した順に、その年の王様にする」という神様のお触れを聞き、牛は、一番をとるために前日に出発しました。しかし、ゴール直前で、牛の背中に乗っていたねずみに先を越されてしまいました。だから一番はねずみ、2番が牛になったということです。

この牛のように、一番でなくてもいい、ゆっくりでもいい、**自分の目標にむかって着実に歩みを進められる年**にしていきたいと思います。

《校長の話 その2》

今回の朝会には、3人のゲストをお招きしていました。日々子どもたちの安全を守ってくださる OKAMOTO 安全サポート隊と交通整理員の方々です。

交通整理員 ～小嶋さんへの質問～
岡小の子どもたちが「成長した」と感じられることは、どんなことですか？

4月の頃は、不安そうだった1年生の顔が笑顔に変わるなど、6年間の子どもの成長を見られることがとてもうれしいです。

また、高学年が優しく低学年に関われる姿に成長を感じます。

支えられています

OMAMOTO 安全サポート隊駒形新宿隊長
～長山さんへの質問～
登校時の見守りをされていて「うれしかった」ことは、どんなことですか？

自分から挨拶のできる子が増えてきました。子どもたちから、こちら元気をもらっています。こちらこそ、「ありがとう」です。これからも、相手に伝わるような挨拶を続けてください。

OMAMOTO 安全サポート隊長
～伊藤さんへの質問～
岡小の子どもたちに「気を付けてほしい」ことは、どんなことですか？

道路のはじを歩きましょう。
横断歩道を渡る時は左右を確認しましょう。
ポケットに手を入れないようにしましょう。

「人」という文字が物語るように、私たちは、共に支え合うことで「当たり前」の生活を営むことができます。



OKAMOTO 安全サポート隊と交通整理員の方々は、雨の日も風の日も、暑い日も寒い日にも、子どもたち一人ひとりの安全のために時間と労力を見出してくださっています。

そして、「子どもたちの明るい元気な挨拶」は、その活動の原動力となっていることがわかりました。

私たちの命や生活は多くの方々に支えられています。そのことに、感謝の気持ちをもつことが大切です。これからも、**感謝の気持ち**を「挨拶」や「態度」で示していきたいと思います。



※岡本小学校区青少年健全育成会の皆様によるパーテーション作成

感染拡大防止のために ～当面の対策～

緊急事態宣言発令以降の南足柄市立学校の感染症対策の指針を受け、岡本小学校では当面の間、以下のような対策を徹底します。ご家庭でも油断することなく感染予防を今一度ご確認くださいよう、ご協力よろしくお願ひします。

<学校では>

- ◆活動前後の手洗いを徹底します。
- ◆常時換気を基本とします(ブランケット等の持参可)。
- ◆互い違いの座席配置での授業を基本とします。
- ◆歌唱の授業では、マスクを着用します。
- ◆調理実習は当面の間行いません。
- ◆体育では身体接触をしないように工夫します。

※近隣市町や市内の感染状況によっては、短縮日課の実施や校外学習・学校行事等の変更を行います。その都度、マチコミメールやHPに掲載し、ご連絡するよういたします。

<ご家庭では>

- ◇毎日の検温と身体症状の把握をお願いします。
- ◇風邪等の症状や登校に不安のある場合には、無理して登校をさせないようにしてください(欠席扱いにはしません)
- ◇不要不急の外出を控えてください。
- ◇毎日清潔なマスクと手拭きタオルを持たせてください。
- ◇「早寝、早起き、朝ご飯」に留意し、生活リズムを整えてください。

冬花火



昨年12月24日の夕方、5・6年生の希望者を対象に、「冬花火」を行いました。

野外教室と修学旅行が日帰りになった5・6年生を少しでも元気づけたいと、岡小教職員が発案したイベントです。

当日は、クリスマスイブにも関わらず、多くの児童が参加しました。花火を受け取るために列に並ぶ子どもたちの顔は満面の笑み。友達と写メを撮ったり、線香花火が消えるまでを競ったり…最後はナイアガラ花火を鑑賞し、全員で盛り上がりました。



昨年末には「岡本小学校教育実態調査」へのご協力、ありがとうございました。オンラインによる調査は初めての試みでしたが、9割近くの回答を得ることができました。今後もオンラインを活用していきます。

わたしのひとりごと

一月七日、例年よりも一日早い2021年の幕開け。学校の「元旦」に当たるとこの日も、いつもと変わらぬ光景が始まりました。子どもたちが登校する前に、毎朝校舎周りを点検する教師がいます。毎朝板書でメッセーを伝える教師がいます。折々に、人生のあり方を示唆する詩を教室に掲示し続ける教師がいます。美しい環境で子どもたちを迎えるために、毎朝掃き掃除をする教師がいます。確実にソーシャルディスタンスがとれるよう、毎朝座席の位置を確認する教師がいます。子どもたちの日記帳に、毎日返事を書き続ける教師がいます。学級の様子や担任の考え方を伝えるために、学級通信を書き続ける教師がいます。かくいう私は、毎朝学校中の廊下の窓を開け、換気対策に取り組んでいます。学校の外では、PTAさんや地域の方々から子どもたちの登校の安全を見守り続けています。そしてご家庭でも、あたたかい朝食を準備し、子どもを起し、支度を手伝い、あたたかい言葉かけをして、送り出してください。それぞれの考えをもち、その成長を支えています。一人の力は小さいかもしれませんが、みんなが協働することで、大きな力となつていきます。

「去年今年 貫く棒の如きもの(こぞことし つらぬく ぼうのごときもの)」
これは、高浜虚子が詠んだ句です。年が変わっても変わらぬこと、続けていくことが、各個人にはあることでしょうか。

岡本小学校の子どもたちの安全と安心のために、これは教師も保護者も地域の方も変わらぬ願いだと思います。その実現に向けて、今年も尽力してまいりますので、昨年と変わらぬご支援ご協力をよろしくお願いいたします。